

## 市民厚生常任委員会での計画に関する主な意見及び対応（案）

ページ	タイトル	市民厚生常任委員会の意見	対応（案）
19	発生抑制・排出抑制計画	(ごみ減量の取り組みは)行政の担当だけで、対応していても限界がある。むしろ市民の力をもって推進すべき。例えばNPO等の組織化など一歩進んだ市民活動になっていくような取り組みを進めてほしい。	原文のまま修正なし 基本計画の中に、「ごみ減らし隊」の創設というものがあり、今後、制度の確立に向けた検討をしていく。
19	発生抑制・排出抑制計画	生ごみ処理機器の普及は難しいが、生ごみを減らせば焼却施設でどれだけの経費が浮き、そのお金で何ができるのかという説明が必要。	原文のまま修正なし 分別説明会などで、これまでも説明してきたが、具体的な費用を明確に記載した資料を作成し、啓発活動を行っていく。
19	発生抑制・排出抑制計画	ごみ有料化に向けた取り組みの記載もあり、「引き続き検討を続けます」とあるが、他の表現がないか。検討だけでなく、市民の意識啓発として、ごみ有料化の話も含めた周知をしていく必要がある。 レジ袋など無料でもらっているだけでなく、値段の中に入っているという意識づけが大事。いつまでも引き続き検討では解決しないので、意識改革のためにどういう言葉がいいのか考えてほしい。	原文のまま修正なし すぐに導入するということだけでなく、検討は続けていくという記載に留める。